**福祉避難所初動対応・支援ロールプレイング**

**説明資料（2016年版）**

福祉施設、特別支援学校等は、災害時に災害対策基本法施行令及び市区町村との協定に基づき「福祉避難所」としての機能を担う可能性があります。このロールプレイングゲーム(RPG)は、福祉避難所の初動対応、避難者や家族、応援職員の受け入れ等について擬似的に体験することを目的としています。

**◆福祉避難所とは（法律上の規定）**

　福祉避難所は災害対策基本法施行令で次のように規定されています。

　「主として高齢者、障害者、乳幼児その他の特に配慮を要する者（以下この号において「要配慮者」という。）を滞在させることが想定されるものにあっては、要配慮者の円滑な利用の確保、要配慮者が相談し、又は助言その他の支援を受けることができる体制の整備その他の要配慮者の良好な生活環境の確保に資する事項について内閣府令で定める基準に適合するものであること。」（災害対策基本法施行令第20条の６第５号）

内閣府令で定める基準は、次の通りです（災害対策基本法施行規則第１条の９）。

1. 高齢者齢者、障害者、乳幼児その他の特に配慮を要する者（以下この条において「要配慮者」という。）の円滑な利用を確保するための措置が講じられていること。
2. 災害が発生した場合において要配慮者が相談し、又は助言その他の支援を受けることができる体制が整備されること。
3. 災害が発生した場合において主として要配慮者を滞在させるために必要な居室が可能な限り確保されること。

【POINT】

1. 「避難所」の一種であるため、市区町村が該当施設・法人との協定等により指定します。このため、市区町村や協定の内容によって呼称や運用の方法が異なる場合あります。
2. 多くの市区町村では「要配慮者」も一時的には避難所（主に小中学校）等へ避難し、その後必要に応じて施設等との調整のうえ「福祉避難所」を開設し、避難誘導するとされています。
3. 福祉避難所の利用対象者には、利用者の家族等も含めて差し支えないとされています。
4. 特別養護老人ホーム等の入所者等、介護保険法に基づく「緊急入所」の対象者は、原則として福祉避難所の対象者にならないとされています。

※以上は現行法制度に基づく大まかな説明であり、実際の運用とは異なる場合があります。

**◆状況設定・シナリオの説明**

本ロールプレイングの状況設定です。**『参加者全員で映画のワンシーンを撮る』イメージ**で、全員が　　同じ場面を描きながら個々の役割を”演じ”ます。俳優・女優になったつもりでチャレンジしてください！

災　害：豪雨災害、土砂災害

被　害：市の中央を流れる川がはん濫、浸水家屋が多数。がけ崩れも発生している。

　　　　市内の障害者施設・児童施設は浸水被害、高齢者施設はがけ崩れによる被害を受けた。

時　期：10月7日(月)　10時～。

場　面：被災した福祉施設に代わり、臨時の福祉避難所となった4階建ての小学校。

　　ライフライン等に被害なし。1階の大会議室が福祉避難スペースとして開放。

シナリオ：

　10月5日(土)　11:00　児童施設、障害者施設の職員及び利用者は中学校に一時避難を完了した。

　　　　　　　　　　　　 高齢者施設の職員及び利用者は、小学校に一時避難を完了した。

　10月5日(土)　20:00　がけ崩れ発生。高齢者施設はがけ崩れで被害を受け全壊、警戒区域指定。

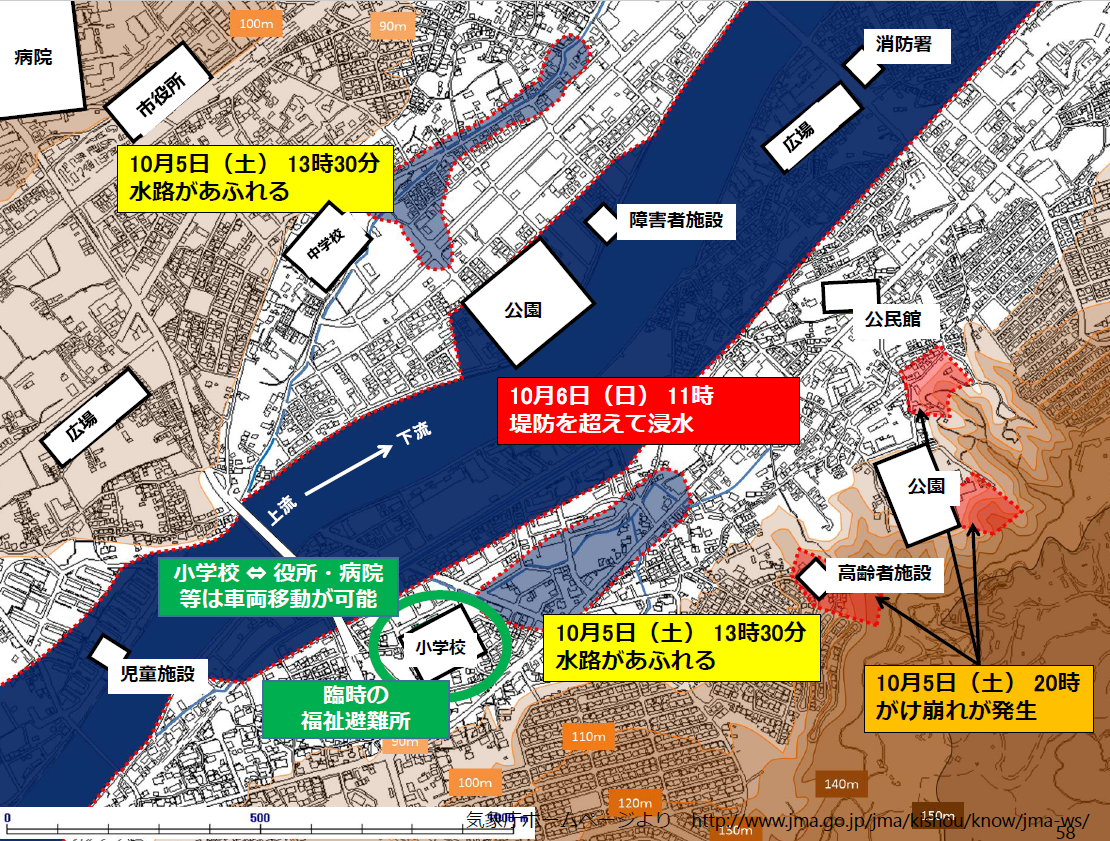
　10月6日(日)　11:00　河川氾濫。児童施設、障害者施設は浸水被害を受け全壊。

　10月7日(月)　09:00　市は高齢者施設利用者等を受け入れた小学校を臨時の福祉避難所に指定。

支援一元化のため、児童施設、障害者施設で支援が必要な利用者も、市や　施設の車両で家族や支援者と共に小学校へ移送されることになった。

　10月7日(月)　10:00　福祉避難所が開設。高齢者施設職員らによる緊急受け入れが開始。

　　　　　　　　　　　　 設備の整った隣接市の高齢者施設が受け入れ準備中だが、時期は未定。



**◆施設職員役の配役イメージ（例、これに限らず設定して構いません）**

　本ロールプレイングは、**施設種別や居住・勤務自治体が異なる職員が集まり、1つの組織で福祉避難所の初動対応・支援にあたる**ことを想定します。**対応・判断は原則として、各現場に任されます。**

**＜現場指揮部＞：現場の意思決定をする**

1. 現場指揮責任者　※小学校の管理職ではなく、福祉避難所対応の意思決定者。
   1. 現場対応の責任者です。RPGでは「小学校に集まった福祉施設職員のリーダー」となり、対応の方針を定め、各部に指示を出します。必要に応じて関係者(学校・市等)と調整を行います。
   2. 一人の責任者が報告・相談を受けるのは【５名まで】とします。例）：１０人いた場合、１０人全員から報告を受けるのではなく部長・係長を決めるなどして５人以下から報告させる。

**＜実行部＞：決定を実行する部署**

1. 実行部長
   1. 高齢者、障害者、児童その他担当班の報告や対応をとりまとめて責任者に報告・相談。
   2. 各係に対し、ニーズの聞き取りや、必要なケア・サポートの実行を指示する。
2. 高齢者担当係（係長）
3. 障害者担当係（係長）
4. 児童その他担当係（係長）

**＜計画情報部＞：状況・情報を整理し、意思決定を支える部署**

1. 受付・案内誘導係（係長）
   1. 受付、案内誘導などを行う。
   2. 要配慮者、家族、支援者等の人数や状況を把握し、責任者に報告する。

**＜後方支援部＞：意思決定、実行に必要な物資や情報を用意する部署**

1. 物資管理係（係長）
   1. 福祉避難所運営に必要になる物資や資機材の品目を付せん紙に書き出す(1品目1枚)。
   2. 必要な人に物資(付せん紙)を提供する。
2. 通信・渉外係（係長）
   1. 連絡する可能性がある組織、施設、団体等をA4白紙にリストアップしておく。
   2. 必要に応じて連絡をとり(指導員に話しかける)、結果を責任者に伝える。

**＜財務・総務部＞：実行に必要な労務や費用の管理を行う部署**

1. 総務係（係長）
   1. 福祉避難所にいる「施設職員」の施設種別と人数を把握し、責任者に報告する。
   2. 責任者の指示で、各部・係の業務をサポートする。

**◆「避難者役」の配役イメージ**

　「避難者役」は何らかの支援が必要な要配慮者を想定しますので、１～２名の「支援者役」と必ずペアになります。自宅等で生活困難な要配慮者として、どのような支援が必要か、施設到着後にどんなやりとりをするかは、ペアの人と話し合って自由に演じてください。実際に普段接している方をイメージしたり、「こんな方がうちの施設に避難してきたらどう対応しよう…」という方を想像したりしながら演じていただくと効果的です（家族関係、障害の程度、個性、生活状況など）。

**＜RPG開始前に、台本で確認・役作りしておくこと＞　※別添台本カード参照**

* 氏名、性別、年齢（本人とおりでも、仮想でも構いません。例：妊産婦夫婦、乳幼児連れ 等）
* 浸水被害により自宅等での生活が困難。
* 必要な支援の内容
  + 例1　足が不自由で電動車いすを使用している。一人ではベッド等に移動が困難。
  + 例２　重度の知的障がいがあり発語ができない。　等
* その他、ペアとなった「支援者役」の方と話し合った内容（支援者役との関係など）

**◆「支援者役」の配役イメージ**

　「支援者役」は「避難者役」の方とペアになり、家族・友人・ボランティア・施設職員・お隣さんなど「避難者役」の方と一緒に避難する人の役割を演じてください。どのような状況で一緒にいるか、どんな支援をしているか（できるか）は、ペアになった「避難者役」の人と話し合って自由に演じてください。

**＜RPG開始前に、台本で確認しておくこと＞　※別添台本カード参照**

* 氏名、性別、年齢（本人とおりでも仮でも構いません）
* 支援者役自身も浸水被害により自宅等での生活が困難。
* 要配慮者支援に関する技能や経験
  + 例１　介護福祉士、ケアマネージャーの資格、業務経験がある。
  + 例２　避難者家族だが、知識や経験はまったくない。　等
* その他、ペアとなった「避難者役」の方と話し合った内容（避難者役との関係など）

**◆ロールプレイの進め方（１３：３０～１６：３０）※時間は目安です**

　別紙のタイムテーブルも参考にしてください。

**１．事前学習、災害想定、ルールの説明　　　　　　　１３：３０～１３：４５**

**２．施設職員役、避難者役／支援者役に分かれて役割分担、役作り**

**１３：４５～１４：１５**

**３．ロールプレイの準備 　　　　　　　　　　　　　 １４：１５～１４：３５**

1. 施設職員役を残して、避難者役・支援者役は退出します（荷物は会場側面等に片付け）
2. 施設職員役は会場を『小学校の大会議室にできた福祉避難スペース』と想定し、役割分担に基づき準備します。準備内容は以下を参考にしながら進めてください。これ以外にも、必要な準備があれば指導員に相談してください。
   * 1. ロールプレイで使用できる資機材（文具）その他を指導員から確認します。
     2. 施設職員役は全員、目印になる養生テープに名前を書いて見える位置に貼ります。
     3. 計画情報部は、机、椅子など会場にあるものでレイアウトをつくります（別添資料参照）。個室をつくりたいときは、机をパーティションに見立ててレイアウトしてください。
     4. 避難者の待機スペースとスタッフの作業スペースは分けておきます。
     5. 総務部は、対応する施設職員の組織図を模造紙に記入しておきます。
     6. 通信・渉外係は、連絡をとる可能性がある施設、団体、組織等の一覧表を準備します。
        1. 市役所、病院、公民館等、仮想図面にある施設や組織
        2. 社協その他、要配慮者支援に関わる全国組織、当事者・支援団体等、現実的な組織
        3. 一覧表にある施設・団体・組織への連絡は「指導員に話しかける」ことで行います。
     7. 物資管理係は、必要になりそうな資機材や物資を、付せん紙に書き出しておきます。付せん紙は資機材や物資に見立てて、RPG中にやり取りすることができます。実際に各施設で福祉避難所開設等に備えて備蓄しているものなどがあれば、洗い出しておくと訓練として効果的です（１品目につき１枚、個々の数量は気にしなくて構いません）。
3. 避難者役・支援者役は、台本に基づき演技の練習をしておきます。ペアの人とよく話し合って役作りしておくと、リアリティが出てよい訓練になります。他のペアがどんな台本づくりをしているか話し合っても構いません。

**４．ロールプレイの実施 　　　　　　　　　　　　　 １４：３５～１５：０５**

1. 時間になったら、避難者役・支援者役は会場に入り、役作りどおりに演じてください。施設職員役は、避難者／支援者を受け入れてください。避難者役や支援者役から要望等があればできる限り対応してください。
   * 1. 何か必要なものがあれば、物資管理係が事前に書き出した付せん紙にあれば、付せん紙を渡します（下記）。事前に書き出していなかったり、足りなくなったりしたら、その場で書き足して構いません。

**非常食  
(流動食)**

**水**

**毛布**

* + 1. 前提条件とシナリオ(2p.)をふまえていれば、会話は全てアドリブでかまいません。
    2. 高齢者・障害者・児童等の各係で対応が難しい事態が発生した場合は、実行部長（実行部長でも判断できなければ責任者に相談）に、それ以外の部・係では責任者に報告して、指示を仰ぎます。責任者でも判断できない場合は指導員に相談してください。

1. 避難者役・支援者役の方は、随時要望や苦情などを積極的にスタッフ役の人に伝えてください。その際どのような受け答えをするかよく観察してください。

**４．ロールプレイ振り返り　　　　　　　　　　　　　１５：０５～１５：３０**

1. 施設職員役、避難者役、支援者役の３班に分かれて振り返りを行います。
2. ロールプレイを実施してみて気付いた、福祉避難所に関する課題・現状・解決策についてそれぞれの視点から話し合ってみてください。

**５．ロールプレイ振り返りの全体共有　　　　　　　　 １５：３０～１５：４５**

　（１）施設職員役、避難者役、支援者役それぞれから、振り返り結果について３分以内程度で発表してください。

**６．全体まとめ　　　　　　　　　　　　　　　　　　 １５：４５～１６：００**